

現計画の中間評価(H30)における 主な課題について

<全分野共通の課題>

- ・支援が必要な人を支える人材の確保
- ・支援が必要な人の受け皿や住まいの確保
- ・効果的な情報提供・啓発の実施

※各分野における基本目標は、現計画のものを記載
※現状・目標の時点はすべて年度

地域	基本目標ごとの主な課題	関連する成果指標	現状	目標	健康・医療	基本目標ごとの主な課題	関連する成果指標	現状	目標
	【基本目標1】 地域の絆づくり ・地域活動の担い手(自治会, ボランティア等)の確保 ・地域ごとのニーズに応じた支援の実施	地域活動への参加率	53.3% (H29)	70% (R4)		【基本目標1】 健康づくりの推進 ・健康づくりへの関心が低い層(特に若い世代)に対するウォーキング等の普及 ・特定健診や各種がん検診等の受診申込みがより簡単に行える仕組みづくり ・糖尿病重症化予防事業の患者等支援登録者に対する支援の質の向上	・健康づくりに取り組んでいる人の割合(20歳以上)	53.3% (H29)	75% (R2)
	【基本目標2】 活動団体への支援と連携 ・民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員活動を負担に感じている割合	63.8% (H29)	50% (R2)			・特定健診受診率(協会けんぽ及び福岡市国民健康保険)	33.5% (H28)	50% (R2)
	【基本目標3】 支え合い・助け合い活動の推進 ・災害時の避難行動要支援者の避難支援の仕組みづくり ・生活支援・介護予防サービスの資源開発や関係者のネットワーク強化 ・ふれあいネットワークや生活支援ボランティアグループの担い手の確保	—	—	—		【基本目標2】 医療環境の整備 ・在宅医療・介護における関係者の連携体制の強化・人員確保 ・災害時医療における関係機関との連携体制の整備	最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合	10.9% (H29)	11.7% (R2)
	【基本目標4】 人づくりと拠点づくり ・身近な場所における地域活動の拠点づくりや運営等の担い手の確保	NPO・ボランティア活動等への参加率	16.6% (H29)	24% (R4)					
	【基本目標5】 自立した生活のための環境づくり ・外出しやすいまちづくりに向けた、効果的な場所へのベンチの設置	ユニバーサルデザインの取組みへの評価	39% (H29)	65% (R4)		【基本目標3】 健康で安全な暮らしの確保 ・薬物や食中毒に関する正しい知識の普及	—	—	—

高齢者	基本目標ごとの主な課題	関連する成果指標	現状	目標	障がい者	基本目標ごとの主な課題	関連する成果指標	現状	目標
	【基本目標1】 いきいきとしたシニアライフの実現 ・高齢者の就業における職域や受け皿の拡大	働いている高齢者の割合	35.3% (H28)	38.3% (R1)		【基本目標1】 地域で安心して生活するための支援の充実 ・地域生活支援拠点機能の充実 ・多様な相談に応じるための相談支援体制のさらなる充実 ・グループホームの設置促進 ・幼児期から成人期までの一貫した発達障がい者への支援	・まちの暮らしやすさ(暮らしやすいまちだと感じている人の割合) ・安全・安心のための社会環境整備ができていると感じている人の割合	41.6% (H28)	50% (R1)
	【基本目標2】 安心して暮らせるための生活基盤づくり ・地域の実情に応じた様々な買い物支援の実施 ・サービス付き高齢者向け住宅の確保 ・公共交通のバリアフリー化の推進, 生活交通の確保	—	—	—		【基本目標2】 就労支援・社会参加支援の充実 ・市の就労支援センターのあり方の検討	・障がいのある人の就労に対する社会の理解度	33% (H28)	40% (R1)
	【基本目標3】 認知症施策の推進 ・認知症サポーターのスキルアップや認知症サポーターが活躍できる場の提供	認知症の人が、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思う人の割合	48.4% (H28)	54.7% (R1)		【基本目標3】 障がいに対する理解の促進 ・障がいや障がい者に対する理解推進を図る「障がい者週間記念の集い」の啓発効果の向上	・啓発・交流の頻度(「障がい者に対する理解を深める機会が少ない」と回答した人の割合)	20.2% (H28)	10% (R1)
	【基本目標4】 介護保険サービスの適切な利用の推進と円滑な制度運営 ・地域とのつながりが少ない人に対するよかトレ実践ステーションへの参加の働きかけ	—	—	—		【基本目標4】 権利擁護の推進 ・相談対応における関係機関との連携強化	・障がい者の人権に関する問題点(「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」と回答した人の割合)	12.7% (H28)	8% (R1)
	【基本目標5】 高齢者総合支援体制づくり ・地域包括支援センターの質の向上および関係機関との連携強化	—	—	—		【基本目標5】 差別解消のための施策の推進 ・市民や事業者などに対する障がい者差別の解消についての周知	・差別を受けた経験(差別を受けたりいやな思いをした経験の割合)	23% (H28)	20% (R1)
						【基本目標6】 障がいのある子どもへの支援の充実 ・障がい児とその家族を地域で支援していく環境づくり	・療育や訓練を受けた経験(「受けた」又は「受けている」人の割合)	83.3% (H28)	85% (R1)